一体型マルチカメラソリューション

直感的な操作が可能なマルチカメラライブTV制作用ソフトウェアによるスタジオ オートメーションシステム。映像スイッチャー機能, オーディオミキサー機能やビデオ再生機能に加えて, Adobe Flashグラフィックスのリアルタイム再生を実現するグラフィックエンジンを搭載。コンパクトでありながら多機能なシステムです。ロケ中の制作ツールとして も使用でき, 移動時はフライトケース1つに収納できます。

製品仕様

- 18チャネルのビデオスイッチャー対応
- 最大で12のライブ映像入力
- SDとHDの混在処理対応
- 映像レイヤー構造対応（プログラム、バックグラウンド、オーバーレイ）
- 4つのビデオプレーヤー装備
- VidiGo Graphics 2つを搭載
- 全入力ソースへのキーイング対応
- アセット別のボーダー設定
- DVEとキーフレームアニメーション機能
- 28フェーダーを持つオーディオミキサー機能
- オーディオプレーヤー2つ（40クリップ対応））
- エンベデッドオーディオ対応
- タリー対応
- タブレット端末からの制御機能（iOS、Windows、Android）
- S3D対応
- SDI オグジュアリ出力機能（独立のモニタリング出力やクリーンフィード出力対応）

※ハードウエアとソフトウエアの仕様については、HPをご参照ください。
www.vidigo.tv/live

メリット

- 直感的な操作性
- このシステム一つで生放送制作を実現
- 柔軟な更新性/機能追加（ソフトウエアベース）
- スタジオ送出機能を網羅（コスト削減）
- インタラクティブグラフィックス制御の実現
- オペレーター1人で制御を可能とした自動化/簡易化設計
- カスタマイズ可能なマルチビューアー対応
- 豊富な自動化機能
  - マクロ機能
  - スクリプト機能
  - ニュースルームの統合
  - 自動化カメラのプリセット制御

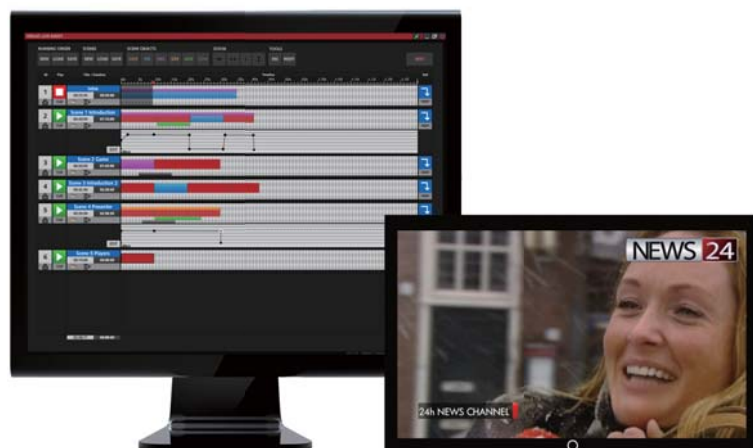
使用例

- ニュース/時事情報
- 天気予報/交通情報
- イベント/スポーツ/公営競技中継
- 議会中継
- 企業/学校/宗教
- 中継車/ロケ用スタジオ
- ビジュアルラジオ

パッケージ内容

- VidiGo Live ソフトウエア
- ワークステーション（ラックマウント対応）
- 22型LCDモニター2つ（オプション:タッチパネル）
- ベリンガー BCF2000 MIDI スタジオコントローラー
- ADATコンバーター
- 取扱説明書
- ソニーBRCシリーズ用VISCA対応
- パナソニックAW-HEシリーズ用IPインターフェース対応
- VidiGo API
- VidiGo Live マルチビューアー
- VidiGo Graphics Composer

- オプション品
  - VidiGo Audio Director（『VidiGo ビジュアルラジオ』参照）
  - VidiGo Live Assist（『VidiGo スタジオ自動化』参照））
  - VidiGo API
  - VidiGo ハードウエアコントローラー
  - JL Cooper タリー (GPI 対応)
  - JL Cooper (eBOX 対応)
  - 予備 ベリンガー BCF2000 コントローラー
  - 冗長電源
  - カスタムグラフィックス開発サービス

番組進行の完全自動化アプリケーション

DVE, キーエフェクト, カメラ選択, グラフィックス, 背景, 音声フェード, クリップ再生など, 必要なソースをドラッグ&ドロップで簡単に番組進行表に組込むことができるアプリケーション。VidiGo Liveと併用して番組進行の完全自動化を実現し, マルチカメラを使用したニュース番組, 情報番組, 議会中継番組など, 様々な番組制作に対応可能です。

製品仕様

- 汎用コンピューターで動作可能なマルチOSアプリケーション
- XMLベースの出力対応
- ループ再生機能
- リアルタイム制御対応
- 既存外部システムとの連携性/拡張性（例：他社ニュース用システムとの連携等）

使用例

- マルチカメラでのニュース番組/ワイドショー/討論系番組（進行表の簡単作成）
- ビジュアルラジオ番組/インターネット上の社内番組/市議会などの議会中継番組
- 台本付きのニュースやワイドショー/時事情報番組
- 教育系番組
- 宗教や各種団体系番組

メリット

- 直感的な操作性：「どのコンテンツ」を「いつ」「どのレイヤーで」送出するか, タイムライン式テンプレートへのドラッグ&ドロップ方式で簡単に番組表作成。
- 番組進行順を視覚的に表現：DVE、キーエフェクト、カメラ選択、グラフィックス、背景、音声フェード、クリップ再生などストーリーを構成する各要素をタイムライン上で視覚的に確認/調整可能。
- 豊富で柔軟な機能：ニュース用データシステムと簡単連携。シーン直前の進行表変更も可能。
- 遠隔アクセス機能：スタジオでも遠隔地からでも番組準備が可能。

パッケージ内容

- 標準ITハードウェアで動くVidiGo Live Assist 1.0ソフトウエア
- ドングル

＜VidiGoの製品ラインナップ＞

完全ソフトウェアベースのスタジオ オートメーションシステム

一体型マルチカメラソリューション
”VidiGo Live”

＋

番組進行の完全自動化を実現するアプリケーション
” VidiGo Live Assist”

放送グラフィックスアプリケーション
“VidiGo Graphics”

Adobe Flash Professionalをはじめ Illustrator, Photoshopなどで作成したグラフィックスをオンエア用にレンダリングできます。

デスクトップキャプチャーツール
”VidiGo Toolbox”

YouTube, Google Earth, SkypeなどのWEBコンテンツやその他のPC用コンテンツをキャプチャーしてオンエアできるソフトウェアベースのキャプチャーツール

VidiGo社について

PCなどの標準ハードウェアとソフトウェアのみで動く世界初のAVワークフローを提供するVidiGoは, 先見的なテクノロジーにより, 約10年にわたって放送業界をリードしてきました。すべてのワークフローの中核として, 社内で開発した機能豊富で低レイテンシーの映像エンジン”DAVE”を搭載しており, 自動化や柔軟性, 拡張性を重視し, 放送制作をより速く, より簡単に, より低コストで実現します。

【日本代理店】ジャパンマテリアル株式会社　グラフィックスソリューション事業部　グラフィックスソリューション部
〒169-0073　東京都新宿区百人町2-4-8 ステアーズビル7F
TEL 03-5338-2701 / FAX 03-5338-2710 E-mail: sales-video@j-material.jp URL www.jmgs.jp/video